

2021年6月22日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 アンセム ウォン
ANSELM WONG

本日付東証適時開示「特別調査委員会の調査報告書受領に 関するお知らせ」についての補足

本年2月より当社が継続的にお知らせを実施してきました通り、当社前経営陣の元代表取締役社長の網屋信介氏（網屋氏）、元取締役の高瀬尚彦氏（高瀬氏）の2名、並びに当社子会社株式会社トレードセブン（T7）前経営陣の元代表取締役の谷口亮氏（谷口氏）は、株式会社ビートレーディング（Bトレーディング）との間で、彼らの当社役員、並びに子会社役員に就任当初より不可解な取引を複数実施してきておりました。

今回の特別調査委員会の報告は、D-LIGHT 株式会社（DL、代表：鬼倉達矢氏）及びT7が中心的に関わり過去に実行していた資金循環取引（本循環取引）の一連の実態に対し限定的に調査をいただいた内容となっておりますが、このDLとT7が関わる本循環取引にも、背景にはBトレーディングの関係者が複数介在している事実も確認されました。

本循環取引に中心的に介在した当社元取締役の高瀬氏は、高瀬氏の個人会社である別会社のナッシュ・インターナショナル合同会社を通じて、本循環取引の営業代行手数料の名目で中間マージンを個人的に受領している事実が確認されており、積極的に本循環取引を承認・実施していた事実がございます。（複数のメール履歴他エビデンスあり。）高瀬氏は本循環取引に限定した範囲だけでも、個人的に多額の金銭受領をしており、その金銭受領は400万円に及ぶことが確認されました。また、高瀬氏が関わる過去の他取引についても、本件と同様な当社とは立場が対立する個人的な中間マージン等金銭受領を複数実施しており、それぞれエビデンスと共に確認されています。

当社元代表取締役社長の網屋氏は、高瀬氏と共に、本循環取引に中心的に関わっていた事実が確認されています。また網屋氏の氏名イニシャル「しんすけ（S）」「あみや（A）」を社名とした網屋氏の個人的関係会社の株式会社エス・エー・コンサルティング（SAC、元代表は網屋氏、現在は網屋氏親戚が代表）は、Bトレーディングと包括的なコンサルティング契約関係をもっており、網屋氏と高瀬氏の両名は、このSACを通じて、Bトレーディング関係社他から複数の個人的な金銭受領をしている事実を確認しています。SACが、網屋氏、高瀬氏両名に当社からの役員報酬以外に報酬供与をしている事実は以前の当社開示で報告しております通りです。これら当社とは立場が対立する個人的な金銭受領は、Bトレーディング関係2社からだけでも少なくとも年額で2520万円に及ぶことが確認されており、これらが数年にわたり実施されています。

本循環取引を始めた当時のT7の代表取締役の谷口氏は、Bトレーディングから派遣されており、現在Bトレーディングに在籍しています。2021年3月22日当社において谷口氏と面談を実施した際に、当社が以前に開示をしている3600万円にのぼるT7とBトレーディング間に存在する不明取引の内容について、谷口氏に当社が説明を求めたところ、これらのBトレーディング側の金銭受領理由は、DL関連の蓄電池取引（本循環取引）を斡旋・紹介した紹介料としての名目であり、当時Bトレーディング側と網屋氏、高瀬氏両名との間にそのような合意があった旨の報告を受け、確認しております。（本面談内容は録音記録あり。）蓄電池取引（本循環取引）は累計売上で10億円以上、収益も出ている取引をBトレーディングはT7に対して紹介しているので、3600万円の業務委託契約に何の問題があるのかという主張を、Bトレーディング側見解であると谷口氏が社を代表して訴えてお

りました。その翌日2021年3月23日に本循環取引を含む一連の不信取引に対し、金融庁証券取引等監視委員会事務局開示検査課（開示検査課）より立ち入り検査を受けることとなりました。

企業、会社とは社会の公器であり、「企業は社会に対して有益な価値を提供するために存在し、社会の期待に十分に答えられてこそ、株主、国民に信頼され、その存続を許されるもの」と考えます。しかしながら当社は、このような悪質な取引に関わり売上を不正に計上し、株主、ステークホルダー、及び日本国民の皆様を欺いてきたこととなります。

当社元代表取締役の網屋氏の取締役辞任直後の2021年2月1日より、当社はあらゆる手段を講じて上場企業としての使命を果たすべく、これらの一連の事実を当社株主及びステークホルダーの皆様にお伝えしていくことを計画してきましたが、社内外諸機関から、これら事実の公表に対する慎重・反対意見を多く受け、本日に至るまで難航に難航を重ねて参りました。こういった経緯・背景から、当社の元会計監査人であるアスカ監査法人に当社として援助・協力を求めましたが、アスカ監査法人から「網屋氏から当法人代表に連絡があったため、御社（当社）に協力することはできない。」との当社としては全く理解できない旨の連絡を受け、本日に至るまでアスカ監査法人からは本循環取引も含め、当時の不正の実態究明に直接的協力を得られておりません。アスカ監査法人のこの非協力的な姿勢は、当社の過去の事実についての公表が難航した大きな理由の一つとなっております。連絡・協力がいただけなくなる少し前の時期に、当社がアスカ監査法人の担当会計士2名と直接面談を実施した際には、「会社を守るために、当局のこれら調査に対して積極的に協力しない方が良い。」との助言も受けました。その後アスカ監査法人とは通常の連絡も取れない状態となり、当社はアスカ監査法人に対し、法人が指定している告発ホットライン窓口である、あかつき総合法律事務所にも本件について連絡・相談を試みましたが、このホットラインも機能しておらず、アスカ監査法人からの協力は本日に至るまで得られておりません。

当社は先述の通り、開示検査課の立ち入り検査前より、当社元取締役2名（網屋氏、高瀬氏）及びBトレーディングが関わる一連の不可解な取引について調査、公表、是正のアクションをスタートさせておりました。開示検査課の立ち入り検査前より、当社取締役会においてもこれらについて激しい議論をし、当社として倫理的観点に重きをおき、社会的責任を果たすべきであるとの結論に至り、調査を進めていく方針を打ち出しておりました。開示検査課の立ち入り検査後は、より社内外関係諸機関からの協力も得やすくなり、当社として積極的に調査を実施し、開示検査課の検査に対し全面的に協力、報告義務を履行いたしました。また、その後当社が設置した特別委員会も、それらの真相究明を第三者の立場から徹底的に追及いただきました。その結果、社内外関係諸機関の継続的なご協力もいただき、このように極めて短期間での実態の解明を実現することができました。当社内外関係諸機関にはそのご協力に感謝申し上げます。

今後につきましては、当社過去の本循環取引に関わる訂正報告を速やかに実施し、これらの原因分析、再発防止策の制定を当社として速やかに実施していく予定であります。これらについては後日改めて開示をいたします。また、本循環取引他一連の非倫理的行動・取引に関わる当社元取締役らの証言は、他の取引関係者の証言内容とも大きくかけ離れており、これら不誠実かつ当社への甚大な損害をもたらしたものに対し、法的手段をとるべく、全ての関係者に対し当社は訴訟の準備に入りましたことを報告いたします。

以上

【別紙】特別調査委員会「調査報告書」における仮名と実名の対応表

当社は、現役員等及び元役員等が責任を自覚して再発防止を徹底するため、及び、同様の循環取引を一般に予防する観点から当社が社会的責任を果たすため、東証適時開示添付の特別調査委員会「調査報告書」において仮名となっている関係者の実名を以下に開示させていただきます。

なお、西日本高速道路株式会社（NEXCO 西日本）（「調査報告書」において「NXN」と略記）及びその100%子会社である西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社（「調査報告書」において「NX」と略記）の2社につきましては、当該調査対象の関係者が一連の取引を導入する際に虚偽の商流として法人名を無断で使用していたにすぎず、本件には一切関係していないことが特別調査委員会の調査によって確認されております。当社としても、当該2社が本件に関与していないことを独自に確認しております。

| 仮名 | 正式名称 | 所在地 |
|------|--------------------------|----------------------------|
| DL | D-LIGHT 株式会社 | 東京都中央区銀座一丁目8番2号 |
| IA | 株式会社インクリージング・アソシエイツ | 東京都港区芝大門一丁目4番4号 |
| KS | 一般社団法人日本中小企業金融サポート機構 | 東京都港区芝公園一丁目3番5号 |
| GA | 合同会社アドバイザー | 愛知県名古屋市名東区猪子石原一丁目1408番地 |
| TO | 株式会社ティーオーツー | |
| NXN | 西日本高速道路株式会社 | |
| NX | 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社 | 大阪府大阪市北区堂島一丁目6番20号 |
| MC | 有限会社エム・シー・シー・インターナショナル | 東京都中央区日本橋人形町二丁目21番9号-1204号 |
| BT | 株式会社ビートルレーディング | 東京都港区芝大門一丁目2番18号 |
| HK | 株式会社はかた舎 | |
| OT 氏 | 鬼倉達矢氏 | |
| TT 氏 | 田代哲氏 | |
| IS 氏 | 今井幸代氏 | |
| NT 氏 | 西村哲宣氏 | |
| O 氏 | 大谷俊之氏 | |
| IH 氏 | 今井博光氏 | |
| NXN | 西日本高速道路株式会社 | |
| KK 氏 | 金子圭助氏 | |
| SH 氏 | 佐々木英世氏 | |
| SJ | (株)サーチライトジャパン | |
| F 社 | (株)フェイス | |
| W | WISE | |
| SA | (株)エス・エー・コンサルティング | 東京都港区六本木6丁目10番1号11階 |
| NS 社 | 日本搜索光研(株) | |

以上